【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成31年3月7日(2019.3.7)

【公開番号】特開2017-120469(P2017-120469A)
【公開日】平成29年7月6日(2017.7.6)
【年通号数】公開・登録公報2017-025
【出願番号】特願2015-255707(P2015-255707)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｑ　50/20　　(2012.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｑ　50/20

【手続補正書】
【提出日】平成31年1月23日(2019.1.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の履修モデルと、当該履修モデルそれぞれに対応する科目情報を記憶する記憶装置を含む情報処理システムであって、
科目情報の選択を受け付ける科目情報選択受付手段と、
前記選択された科目情報に基づいて履修モデルの選択候補を表示する候補表示手段と、
前記表示された履修モデルの選択候補から履修モデルの選択を受け付ける履修モデル選択受付手段と
を備えることを特徴とする情報処理システム。
【請求項２】
前記候補表示手段は、前記選択された科目情報と、選択候補となる履修モデルに対応する科目情報とを対比した結果に基づいて、履修モデルの選択候補を表示することを特徴とする請求項１に記載の情報処理システム。
【請求項３】
前記候補表示手段は、前記選択された科目情報と、選択候補となる履修モデルに対応する科目情報との一致度合いに基づいて、履修目モデルの選択候補をソートして表示することを特徴とする請求項２に記載の情報処理システム。
【請求項４】
前記選択された科目情報と、前記選択された履修モデルに対応する科目情報とを対比した結果を表示する対比表示手段を備えることを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載の情報処理システム。
【請求項５】
前記対比表示手段は、前記選択された履修モデルに対応する科目情報のうち、前記選択された科目情報と一致する科目情報と一致しない科目情報とを識別表示することを特徴とする請求項４に記載の情報処理システム。
【請求項６】
前記選択された科目情報と、前記選択された履修モデルに対応する科目情報とを対比した結果に基づいて、前記選択された履修目標をユーザに対応づけて登録する登録制御手段を備えることを特徴とする請求項１～５のいずれか１項に記載の情報処理システム。
【請求項７】

前記履修モデルはそれぞれ、履修目標となる職業、職業グループ、人物像のいずれかに対して設定されることを特徴とする請求項１～６のいずれか１項に記載の情報処理システム。
【請求項８】
複数の履修モデルと、当該履修モデルそれぞれに対応する科目情報を記憶する記憶装置を含む情報処理システムの処理方法であって、
科目情報の選択を受け付ける科目情報選択受付ステップと、
前記選択された科目情報に基づいて履修モデルの選択候補を表示する候補表示ステップと、
前記表示された履修モデルの選択候補から履修モデルの選択を受け付ける履修モデル選択受付ステップと
を含むことを特徴とする処理方法。
【請求項９】
複数の履修モデルと、当該履修モデルそれぞれに対応する科目情報を記憶する記憶装置を含む情報処理システムのプログラムであって、
前記情報処理システムを、
科目情報の選択を受け付ける科目情報選択受付手段と、
前記選択された科目情報に基づいて履修モデルの選択候補を表示する候補表示手段と、
前記表示された履修モデルの選択候補から履修モデルの選択を受け付ける履修モデル選択受付手段
として機能させるためのプログラム。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
そこで、本発明の目的は、職業等に対応する履修モデルの選択および候補となる履修モデルに対する科目の選択を容易にする仕組みを提供することである。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本発明の目的を達成するための、数の履修モデルと、当該履修モデルそれぞれに対応する科目情報を記憶する記憶装置を含む情報処理システムであって、科目情報の選択を受け付ける科目情報選択受付手段と、前記選択された科目情報に基づいて履修モデルの選択候補を表示する候補表示手段と、前記表示された履修モデルの選択候補から履修モデルの選択を受け付ける履修モデル選択受付手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本発明によれば、職業等に対応する履修モデルの選択および候補となる履修モデルに対

する科目の選択を容易にする仕組みを提供することが可能となる。